

カルボキシペプチダーゼ E

Cat. No. EXWM-4062

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 亜鉛酵素で、Co²⁺によって活性化されます。1,10-フェナントロリンやその他のキレート剤によって阻害されます。pH最適値は5.6です。分泌細胞の貯蔵顆粒に存在し、タンパク質ホルモンや生理活性ペプチドの処理に関与しています。ペプチダーゼファミリーM14（カルボキシペプチダーゼAファミリー）に属します。

別名 カルボキシペプチダーゼ H; エンケファリンコンバターゼ; コバルト刺激クロマフィン顆粒カルボキシペプチダーゼ; インスリン顆粒関連カルボキシペプチダーゼ; エンケファリンコンバターゼ; 膜結合カルボキシペプチダーゼ; カルボキシペプチダーゼ E; エンケファリン前体エンドペプチダーゼ; エンケファリン前体カルボキシペプチダーゼ; ペプチジル-L-リジン(-L-アルギニン)ヒドロラーゼ

製品情報

形態 液体または凍結乾燥粉末

EC番号 EC 3.4.17.10

CAS登録番号 81876-95-1

反応 ポリペプチドからのC末端アルギニンまたはリジン残基の放出

備考 このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5~9週間です。ご要望に応じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。